

佐世保市 QSP に参加

産学官グループと連携協定

大学や短大、自治体などで構成する「九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム」(QSP)に佐世保市が参加する。30日、市役所

で連携協定の調印式があり、QSP会長の中島憲一郎・長崎国際大学長と、朝長則男市長が協定書を交わした。

QSPは、長崎、佐賀両県の大学・短大15校▽福岡県の短大2校▽長崎県▽佐賀県▽長崎経済同友会―などで構成。人口流出や人材育成などの社会的な課題に連携して取り組んでいる。



協定書を交わす中島会長（前列左）と朝長市長（前列右）

同市はQSPに参加し、生活習慣病予防の共同研究や若者の地元就職の推進などに取り

組む方針。朝長市長は「県境をまたいだ連携は心強く、効果も大きい。学生の若さや知恵を借りながら一体となって地域づくりに取り組みたい」と語った。中島会長は「QSPを実りあるものにする

には自治体の協力は不可欠。佐世保市は県北を代表する市で、若者の地元定着のモデルケースになることを期待したい」と述べた。

【和田恭代】